汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第1報)

平成 23 年 6 月 24 日

新潟市などに水道用水を供給する当企業団が管理する東港浄水場の浄水汚泥について、放射性物質の分析調査を行ったところ、結果は以下のとおりでした。

□ 調査概要

○ 採取場所 東港浄水場(新潟市北区笹山1114番地)各天日乾燥床

○ 採取日 平成23年6月13日(月)

○ 分析機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 調査結果 (単位:Bq/kg)

天	日乾燥床番号	ヨウ素-131	セシウム合計
	2号	検出されず	検出されず
4 77	5号	検出されず	21,000
1系	6号	検出されず	検出されず
	7号	検出されず	6,200
	3号	検出されず	164
0.77	4号	検出されず	7,800
2系	5号	検出されず	検出されず
	6号	検出されず	検出されず

- ※ セシウム合計は、セシウム-134とセシウム-137の合算値です。
- ※ 放射性物質が検出されなかった天日乾燥床は、東日本大震災発生以前に 打ちこんだ浄水汚泥です。

口 浄水汚泥とは

水道水をつくる過程で発生するもので、川の水に含まれる「濁り 成分」を取り除いたものを集め、乾燥させたものです。

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質については、微量(基準値未満)の放射性物質が一時期検出されましたが、3月31日以降は検出されていません。

□ 管理の現況について

- 〇 水分濃度の高い最近の浄水汚泥を天日乾燥床に重ね打ち(覆土) することにより、放射線の遮へいと飛散防止を徹底しています。
- 測定の結果、敷地境界における放射線量は、通常の範囲内(1時間当たり0.016~0.16μSV程度)に収まっています。

□ 今後の対応について

- 浄水汚泥に係る放射性物質の調査を継続して実施します。
- 〇 6月16日に国から示された「当面の取扱いに関する考え方」に沿って、浄水汚泥の適切な保管、仮置き、処分等を進めます。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第2報)

平成 23 年 9 月 16 日

新潟市、新発田市、聖籠町及び明和工業㈱に水道用水を供給する当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の検査結果と現在の保管状況並びに今後の対応についてお知らせします。

□ 検査概要

○ 採取場所 東港浄水場(新潟市北区笹山1114番地)各天日乾燥床

〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

口 検査結果と現在の保管概況について (平成23年9月16日現在)

(単位:Bq/kg)

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
	1号床	200				
	2号床	200				
	3号床	200	*2	検出されず	検出されず	*A
	4号床	200				
1系	5号床	430	*1	検出されず	21,000	*B
一	6号床	430	*2	検出されず	検出されず	*A
	7号床	1,200	*1	検出されず	6,200	*B
	8号床	260			検出されず	*Д
	9号床	660	*2	検出されず		
	10号床	190				
	3号床	1,200		検出されず	164	*B
	4号床	1,200		検出されず	7,800	↑□
2系	5号床	950	*1	検出されず	検出されず	J. A
	6号床	970		検出されず	検出されず	*A

※1:放射性汚泥検査採取日 6月13日※2:放射性汚泥検査採取日 7月 5日

※A:放射性物質を含まない安全な乾燥汚泥として、浄水場外の仮置き場に搬出済みなお、1系6号床に、9月13日までに新たな汚泥を張り込み

※B:汚泥の重ね打ち(覆土)と水張りにより、放射線の遮へいと汚泥の飛散防止を 徹底しながら適切に保管

口 浄水汚泥とは

水道水をつくる過程で発生するもので、川の水に含まれる「濁り成分」 を取り除いたものを集め、乾燥させたものです。

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質については、微量(基準値未満)の放射性物質が 一時期検出されましたが、4月1日以降は検出されていません。

□ これまでの保管状況について

- 放射性物質が含まれる汚泥を保管している天日乾燥床は、ロープ等を 張り、関係者以外は立ち入り禁止としています。
- これらの天日乾燥床には、水分濃度の高い、最近発生した汚泥を重ね 打ち(覆土)し、その上から更に水張りすることにより、放射線の遮へ いと飛散防止を徹底しています。
- 〇 放射線量を週2回、定期的に測定し、敷地境界における放射線量が通常の範囲内(1時間当たり $0.016\sim0.16\mu$ SV程度)に収まっていることを確認しています。
- これまでも県当局から2回にわたり立会いをお願いし、周辺環境に影響を与えることなく、適切に管理していることを確認してもらっています。
- これらについて、近隣住民には自治会を通じて、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 〇 国から示された「当面の取扱いに関する考え方」等を踏まえ、関係機関 と協議の上、放射性汚泥の適切な保管、仮置き、処分等を進めます。
- なお、21,000Bqの汚泥を保管している1系5号床は、ある程度、乾燥を 進めるとともに、<u>新たに屋根をかけ施錠できる施設に改造</u>し、放射線の遮へ いと飛散防止の一層の徹底を図りながら、適当な仮置き場等が浄水場の外に 確保されるまでの間、浄水場の構内に仮置き、保管します。
- 〇 また、8,000Bq以下の比較的低濃度の汚泥を保管している1系7号床、 2系3号床及び4号床の汚泥は、2系の<u>敷地内に排水処理や遮へい対策等に</u> 配慮した適切な仮置き場を新たに設置し、ある程度、乾燥させた後、土のう に詰め、適当な処分場等が確保されるまでの間、浄水場の構内に仮置き、保 管します。
- 今後、これらに必要な工事を計画的に進めます。
- 〇 また、放射線量の定期測定を継続するとともに、放射性物質の濃度検査 も適宜実施します。

お問い合わせ先:東港企業団事務局

電話:025-386-9111(代表)

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第3報)

平成 23 年 12 月 2 日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果と、現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

- 採取場所 東港浄水場1系7号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)
- 〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果と現在の保管概況について

- 乾燥工程を終えた1系7号床の天日乾燥床汚泥を12月10日から大型土の う袋に詰め、2系の敷地内に新設する仮置き場へ運搬する作業を行うため、 この度は、1系7号床だけを対象に検査を行いました。
- 〇 なお、天日乾燥床への低濃度汚泥の重ね打ちにより、放射性セシウムの濃度は、当初公表(6月24日)した 6,200 Bq/kgから下がりました。

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
1系	7号床	1,200	11月 22日	検 出 されず	5,700 Bq/kg	放射線の遮へいと汚泥の飛散防止を徹底し適切に管理

[※]その他の天日乾燥床の汚泥については、国から示された取扱いに関する考え方に沿って、 適切に保管しています。

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質については、4月1日以降は検出されていません。

□ これまでの保管状況等(対応)について

- 放射性物質が含まれる汚泥を保管している天日乾燥床は、ロープ等を 張り、関係者以外は立ち入り禁止とし、所定の管理を徹底しています。
- 放射線量の測定は、定期的に週1回の測定を継続し、敷地境界において 通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- ① 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、その都度、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性汚泥の適切な保管、仮置き、処分等については、今後も関係機関 と協議の上、対応を進めます。
- 〇 なお、21,000Bqの汚泥を保管している1系5号床は、新たに屋根をかけ 施錠できる施設に改造(平成23年度内)することで、一層の管理の徹底を 図りながら、適当な仮置き場等が浄水場の外に確保されるまでの間、<u>浄水場</u> の構内に仮置き、保管を継続します。
- 〇 また、8,000Bq以下の比較的低濃度の汚泥(1系7号床以外)は、乾燥を 進めた後、土のう袋に詰め、今後、計画的に仮置き場に運搬し、適当な処分 場等が確保されるまでの間、適切に仮置き、保管します。
- 放射性物質の濃度検査についても適宜実施します。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第4報)

平成 24 年 6 月 20 日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、2系天日乾燥床内に整備した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性物質の濃度検査を行いました。

- 採取場所 東港浄水場2系3号と4号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)
- 〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
2系	3号床	1,200	4月19日	検 出 されず	152 Bq/kg	放射線の遮へいと汚 泥の飛散防止を徹底
乙ポ	4号床	1,200	5月29日	検 出 されず	2,160 Bq/kg	心の飛取的圧を徹底し適切に管理

^{※3}号床、4号床とも低濃度汚泥の重ね打ちにより、当初の放射性物質の濃度より低下しました。

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、2系天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第5報)

平成 24 年 7 月 31 日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、2系天日乾燥床内に整備した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性物質の濃度検査を行いました。

- 採取場所 東港浄水場1系6号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)
- 〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
1系	6号床	430	7月24日	検 出されず	340 Bq/kg	放射線の遮へいと汚泥の飛散防止を徹底 に適切に管理

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、2系天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- O 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第6報)

平成24年9月5日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、浄水場構内に整備 した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性 物質の濃度検査を行いました。

- 採取場所 東港浄水場1系7号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)
- 〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

-							
	天日	乾燥床番号	面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
	1系	7号床	1,200	8月23日	検 出されず	226 Bq/kg	放射線の遮へいと汚泥の飛散防止を徹底 に適切に管理

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- O 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第7報)

平成 24 年 11 月 30 日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、浄水場構内に整備 した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性 物質の濃度検査を行いました。

- 採取場所 東港浄水場1系7号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)
- 〇 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
2系	5号床	950	8月23日	検 出	208 Ba/kg	放射線の遮へいと汚 ・ 泥の飛散防止を徹底
乙ポ	6号床	970	10月22日	されず	208 Ba/kg	し適切に管理

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- び 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 万泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第8報)

平成 24 年 12 月 27 日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、浄水場構内に整備 した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性 物質の濃度検査を行いました。

○ 採取場所 東港浄水場2系4号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
2系	4号床	1,200	10月22日	検 出 されず	167 Bg/kg	放射線の遮へいと汚 泥の飛散防止を徹底 し適切に管理

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Ba/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Ba)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第9報)

平成25年6月4日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥を順次大型土のう袋に詰め、浄水場構内に整備 した仮置き場に移動、保管する作業を行うため、対象となる汚泥に含まれる放射性 物質の濃度検査を行いました。

○ 採取場所 東港浄水場1系7号天日乾燥床(新潟市北区笹山1114番地)

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 検査結果

天日乾燥床番号		面 積 (㎡)	検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	管理状況
1系	7号床	1,200	5月9日	検 出 されず	242 Bg/kg	放射線の遮へいと汚 泥の飛散防止を徹底 し適切に管理

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について(第10報)

平成25年9月30日

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥の保管又は処分方法を決めるため、対象となる 汚泥に含まれる放射性物質の濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1 系	6 号床	6月6日	検 出 されず	221 Bq/kg	大型土のう袋に詰め2系 仮置き場に保管
2系	3 号床	6月13日	検 出 されず	<u>148 Bq/kg</u>	県外の有効利用先へ搬出
1 系仮置き場		9月5日	検 出 されず	188 Bq/kg	II

〇 検査機関

(財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め仮置き場に保管しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 〇 今後も、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、 県外での有効利用先に搬出して行く予定です。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。